



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
2月10日
発行

第16回

「米大統領選挙」

～ 新大統領はブティージェッジ氏が有力～

初めに

今年の米大統領選の民主党予備選の初戦となるアイオワ党員集会はまだ最終結果が出ていませんが、ブティージェッジ前サウスベンド市長が首位、サンダース上院議員が僅差の2位になった模様です。一方最有力と見られているバイデン元副大統領は主要4候補中最下位に沈みました。今回はこのアイオワ党員集会の結果を手がかりに、今後の大統領選挙について考えてみます。

バイデン候補の可能性は低い

バイデン氏の敗北については一過性のものでなく、バイデン氏の不人気を示したものと見ています。現在の民主党は、貧富の格差是正を主張する急進左派と執行部を中心とした中道派の意見の隔たりが大きくなっています。しかし選挙となれば急進左派の力が大きいと見ています。昨年の中間選挙で民主党は下院の過半数を回復しましたが、これも女性や若者を中心とした急進左派の力によるものと思われています。こうした民主党の状況を見る限りにおいては、バイデン氏が民主党候補となることは難しいと思われれます。

ブティージェッジ旋風はあるか

アイオワ党員集会の最大のサプライズはブティージェッジ氏の躍進です。今回予想外に票が伸びた理由はその若さにあると言われます。現時点で有力な大統領候補と言われている人は、トランプ大統領も含めていずれも70歳を超えています。そういう意味ではブティージェッジ氏は一気に駆け上がる可能性もあり注目しています。(オバマ大統領が出て来た時に似ている。)

クリントン大統領もアーカンソーと言う小さな州からの出馬で当初は注目度が低かったのですが、ブッシュ大統領(父)を下して大統領になりました。このクリントン大統領の事例にも似ているように思えます。因みに両者とも民主党からの大統領です。

トランプ氏と対峙するのは誰か

ここからは誰がトランプ氏への挑戦者になるかについて考えてみます。一般的に有力と見られているのはバイデン氏ですが、先程述べたように民主党内でそれほど人気がないと思われるためバイデン氏が民主党候補となる可能性は低いと考えています。

サンダース氏とウォーレン氏はどちらも候補になってもおかしくないと思いますが、高齢であること、大統領候補となって長く新味がないことから、若いブティージェッジ氏に分があると考えています。

なお誰が民主党の大統領候補に選ばれてもトランプ氏の再選はないと考えていることは、従来から申し上げている通りです。

ブティージェッジ氏の場合は株式市場は長期上昇も

今回のブティージェッジ氏はクリントン氏やオバマ氏が大統領になった時に似ていると申し上げましたが、この2人の在任中は株式市場は世界的に上昇しました。ブティージェッジ氏が大統領になった場合、同じようなことが期待出来るかもしれません。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。